令和８年度

学 校 図 書 館 全 体 計 画

中小岩小学校

学校図書館は、教育課程の展開に寄与するとともに、児童の健全な教養を育成することを目的とする

学 校 教 育 目 標

よく考える子
思いやりのある子
たくましい子

本は好きだが、物語ではない絵本や図鑑、なぞなぞなどを手にする児童が多い。調べ学習等で図書館を利用する機会も少ない。

学 校 図 書 館 の 目 標

学校図書館の活用を通して、自ら学ぶ意欲と態度を育て、生涯学習の基礎を培う

ね　ら　い

① 児童の読書意欲を盛んにし、豊かな心情と幅広い知識を身につける。
② 学び方指導を充実し、図書館活用の望ましい態度や技術を高める。
③ 多様な資料から目的に応じた情報を選び、課題解決を図り情報活用能力を育成する。

指 導 の 重 点

① 教育課程全体を通して、計画的な読書活動と学校図書館の活用を推進する。
② 学校図書館を活用した教科等の学習の充実と情報活用能力の育成を図る。
③ 司書教諭を中核とした学校図書館教育の推進を図る。

各 学 年 の 重 点 目 標

第一学年	・読み物を楽しんで読もうとする。 ・図書館に親しんで利用できる。	第三学年	・様々な種類の本を読もうとする。 ・進んで図書館を利用して調べようとする。	第五学年	・読書を通して知識を増やし、心情を豊かにする。 ・目的に応じて図書館を適切に利用する。
第二学年	・読み物を進んで読もうとする。 ・図書の扱い方や借り方など正しく利用できる。	第四学年	・読書の幅を広げ、進んで読み、読書量を増やす。 ・調べ学習に意欲的に取り組む。	第六学年	・適切な本を選んで読む習慣を定着する。 ・学び方を身に付け、課題解決能力を高める。

具 体 的 な 取 り 組 み

〔 各 教 科 〕

○ 図書館機能を活用し、課題解決学習、調べ学習、個別指導やグループ学習の場とする。
○ 情報の収集、処理等、情報活用能力を養う。
○ 読書指導を行い、読書習慣、態度を養う。

〔 読 書 科 〕

○ 「ブックバイキング」や休み時間の図書館解放（図書委員会）、教員の本の紹介等による読書の推進、習慣化。
○ 「読書カードの作成」等による意欲の向上。

〔 総 合 的 な 学 習 の 時 間 〕

○ 学び方や考え方を身につける。
○ 課題の解決、探究に主体的に取り組む。
○ 系統的に情報活用能力を育成する。

〔 特 別 活 動 〕

○ 図書委員会を中心に、自発的・自治的に図書館を運営し、読書活動推進を展開する。
○ 特別活動の中で積極的に図書館を活用する。

〔 道 徳 〕

○ 図書資料を通して、様々な生き方や考え方に接する中で、自分を深め、道徳的心情を培う。

〔 家 庭・地 域 と の 連 携 〕

○ 公立図書館との連携による読書の推進。
○ 保護者・地域ボランティアとの連携。

朝読書・読書月間の推進

図書館部組織の確立・充実

図書環境の整備・充実